

Appendix I

研究業績一覧

1 総説

- (1) 神藤隆志, 北濃成樹, 三橋大輔. テニスの試合を対象としたパフォーマンス分析のためのデータ収集から研究データ作成までの方法とその活用事例. 体育学研究 (in press).

2 原著論文

- (1) Koriyama S, Sawada SS, Zhai X, Dimitroff SA, Nishida M, Tanisawa K, Kawakami R, Hamaya K, Shimomitsu T. Leisure-time physical activity and perceived occupational stress: a cross-sectional study of workers in Japan. *Sport Sciences for Health*. 2025 Apr; 21: 1869-1876.
- (2) Liu J, Fujii Y, Fujii K, Seol J, Nagata K, Okura T. Mediating role of frailty/pre-frailty on the association between exercise participation and traffic crashes among Japanese community-dwelling older drivers. *BMC Geriatrics*. 2025 May; 25 (1): 341.
- (3) Yamakita M, Tsuji T, Kanamori S, Saito J, Kai Y, Tani Y, Fujiwara T, Kondo N, Kondo K. Association between trajectories of life-course group sports participation and dementia: a 3-year longitudinal study. *Public Health*. 2025 Jun; 243: 105721.
- (4) Kikuchi H, Machida M, Watanabe Y, Amagasa S, Yoshiba K, Kitano N, Nakanishi Y, Kai Y, Inoue S. The effect of working from home on device-measured physical activity among Japanese white-collar workers: a within-individual comparison study. *Journal of Occupational and Environmental Medicine*. 2025 Jul; 67 (7): 553-557.
- (5) Watanabe Y, Hyodo K, Yamaguchi D, Noda T, Nishida S, Ueno A, Kai Y, Arao T. Effects of frequent, short-duration web-based light-intensity aerobic dance exercise on body composition, physical function, and physical activity in older adults: a randomized controlled trial. *BMC Geriatrics*. 2025 Nov; 25 (1): 831.
- (6) Watanabe Y, Noda T, Yoshiba K, Kikuchi H, Machida M, Nara K, Fukunishi A, Nakanishi Y, Inoue S, Kai Y. Impact of telework on body composition, physical fitness, and physical symptoms in Japanese workers. *Journal of Occupational and Environmental Medicine*. 2026 Feb; 68 (2): 109-114.
- (7) Kawamura T, Nakamura N, Tabata H, Kawakami R, Usui C, Ito T, Soga K, Taki Y, Radak Z, Torii S, Suzuki K, Ishii K, Sakamoto S, Miyachi M, Oka K, Higuchi M, Muraoka I, Tanisawa K. Revisiting the relationship between cardiorespiratory fitness and biological aging: insights from DunedinPACE analysis. *GeroScience* (in press).
- (8) Kawai W, Hyodo K, Yamamoto Y, Hayashi Y, Yamaguchi D, Ueno A, Cutini S, Dan I. Threshold optimization in separating cortical and extracerebral hemodynamics using principal component analysis. *Frontiers in Human Neuroscience* (in press).

3 その他の学術論文

- (1) 高橋淳太, 野田隆行, 大西真衣, 兵頭和樹, 川上諒子, 山口大輔, 西田純世, 甲斐裕子, 荒尾 孝. オンラインで繋ぐ通いの場「Slow Online FiTness : SOFT」の運営実態. *体力研究*. 2025 May; 123: 1-7.
- (2) 甲斐裕子. 日本体力医学会におけるダイバーシティ&インクルージョンの現状. *体育の科学*. 2025 Jun; 75 (6): 415-419.
- (3) 北濃成樹. 職場における「座りすぎ」改善の実践戦略：日本のオフィスからのエビデンス. *韓国産業衛生誌*.

2025 Jul; 447: 12-15.

- (4) Kawakami R, Tanisawa K, Nakamura N, Ito T, Usui C, Inoue Y, Chen Y, Watanabe D, Miyachi M, Torii S, Midorikawa T, Ishii K, Suzuki K, Sakamoto S, Higuchi M, Oka K. Relationship between longitudinal changes in calf circumference and skeletal muscle mass. *Clinical Nutrition ESPEN*. 2025 Aug; 68: 447-450.

4 著書

- (1) Ando S, Fujimoto T, Sudo M, Tashiro M. Involvement of dopamine in cognitive improvement by aerobic exercise. In: Soya H(ed.). *Exercise brain stimulation for cognitive function and mental health*. Springer Singapore. 2025; 191-203.
- (2) Hyodo K, Soya H. Healthy cognitive aging through movement: a practical approach of light-intensity aerobic dance for older adults. In: Soya H(ed.). *Exercise brain stimulation for cognitive function and mental health*. Springer Singapore. 2025; 389-403.
- (3) 甲斐裕子. 運動とオフィス：はたらく場での身体活動促進. 鈴木美奈子, 福田 洋, 坂本直人 (編). *みんなのヘルスプロモーション*. 弘文堂. 2025; 47-50.
- (4) 甲斐裕子. 企業等の取り組み. スポーツと健康増進. スポーツ白書2026～スポーツの新たな価値創造への挑戦～. 笹川スポーツ財団. 2026; 97-100.

5 報告書等

- (1) 甲斐裕子, 和田 彩, 吉葉かおり, 吉岡菜津美, 村松祐子. テレワークの常態化による労働者の筋骨格系への影響や生活習慣病との関連性を踏まえた具体的方策に資する研究. 令和 6 年度厚生労働科学研究費 (労働安全衛生総合研究事業)「テレワークの常態化による労働者の筋骨格系への影響や生活習慣病との関連性を踏まえた具体的方策に資する研究 (研究代表者：甲斐裕子)」総括研究報告書. 2025
- (2) 田淵貴大, 大川純代. リモートワークと喫煙・飲酒行動との関連：JASTIS2023年調査データの横断分析. 令和 6 年度厚生労働科学研究費 (労働安全衛生総合研究事業)「テレワークの常態化による労働者の筋骨格系への影響や生活習慣病との関連性を踏まえた具体的方策に資する研究 (研究代表者：甲斐裕子)」分担研究報告書. 2025
- (3) 北濃成樹, 藤井悠也. 日本人ホワイトカラー勤労者における在宅勤務と健康・well-beingの縦断的関連性：アウトカムワイドアプローチを用いた検討. 令和 6 年度厚生労働科学研究費 (労働安全衛生総合研究事業)「テレワークの常態化による労働者の筋骨格系への影響や生活習慣病との関連性を踏まえた具体的方策に資する研究 (研究代表者：甲斐裕子)」分担研究報告書. 2025
- (4) 渡邊裕也, 菊池宏幸, 町田征己, 野田隆行, 吉葉かおり, 吉岡菜津美, 甲斐裕子. 勤労者のテレワーク頻度と身体組成, 体力, 関節の痛みの関連. 令和 6 年度厚生労働科学研究費 (労働安全衛生総合研究事業)「テレワークの常態化による労働者の筋骨格系への影響や生活習慣病との関連性を踏まえた具体的方策に資する研究 (研究代表者：甲斐裕子)」分担研究報告書. 2025
- (5) 菊池宏幸, 町田征己. 在宅勤務と職場勤務時の身体活動・体重の変化：縦断研究. 令和 6 年度厚生労働科学研究費 (労働安全衛生総合研究事業)「テレワークの常態化による労働者の筋骨格系への影響や生活習慣病との関連性を踏まえた具体的方策に資する研究 (研究代表者：甲斐裕子)」分担研究報告書. 2025
- (6) 福田 洋, 金森 悟, 甲斐裕子. 企業におけるテレワーカーの健康支援への実装戦略～産業保健研究会の議論から. 令和 6 年度厚生労働科学研究費 (労働安全衛生総合研究事業)「テレワークの常態化による労働者の筋骨格系への影響や生活習慣病との関連性を踏まえた具体的方策に資する研究 (研究代表者：甲斐裕子)」分担研究報告書. 2025
- (7) 和田 彩, 中田由夫, 金森 悟, 吉本隆彦, 海塩 渉, 吉葉かおり, 吉岡菜津美, 甲斐裕子. 包括的・多要素

の職業的ライフスタイル介入がテレワーカーにおける身体活動、筋骨格系健康、職場環境に及ぼす影響：クラスターランダム化比較試験（TELEWORK Study）プロトコル。令和6年度厚生労働科学研究費（労働安全衛生総合研究事業）「テレワークの常態化による労働者の筋骨格系への影響や生活習慣病との関連性を踏まえた具体的方策に資する研究（研究代表者：甲斐裕子）」分担研究報告書。2025

- (8) 金森 悟, 海塩 渉, 甲斐裕子. テレワーカーに対する多要素介入によるテレワーク環境整備行動への効果。令和6年度厚生労働科学研究費（労働安全衛生総合研究事業）「テレワークの常態化による労働者の筋骨格系への影響や生活習慣病との関連性を踏まえた具体的方策に資する研究（研究代表者：甲斐裕子）」分担研究報告書。2025
- (9) 海塩 渉, 金森 悟, 鍵 直樹, 浅岡 凌, 甲斐裕子. テレワーカーの在宅・オフィス勤務環境の測定および介入プログラムによる環境改善効果の検証。令和6年度厚生労働科学研究費（労働安全衛生総合研究事業）「テレワークの常態化による労働者の筋骨格系への影響や生活習慣病との関連性を踏まえた具体的方策に資する研究（研究代表者：甲斐裕子）」分担研究報告書。2025
- (10) 中田由夫, 月野木ルミ, 塩満智子, Kim Jihoon. 身体活動量を高めるための包括的・多要素アプローチの効果検証。令和6年度厚生労働科学研究費（労働安全衛生総合研究事業）「テレワークの常態化による労働者の筋骨格系への影響や生活習慣病との関連性を踏まえた具体的方策に資する研究（研究代表者：甲斐裕子）」分担研究報告書。2025
- (11) 吉本隆彦, 川又華代. 職業的ライフスタイル介入がテレワーカーの腰痛関連アウトカムに与える影響：クラスターランダム化比較試験（TELEWORK Study）。令和6年度厚生労働科学研究費（労働安全衛生総合研究事業）「テレワークの常態化による労働者の筋骨格系への影響や生活習慣病との関連性を踏まえた具体的方策に資する研究（研究代表者：甲斐裕子）」分担研究報告書。2025
- (12) 甲斐裕子, 和田 彩, 吉葉かおり, 吉岡菜津美, 藤井悠也. 企業担当者向け安全衛生に配慮したテレワークガイドの作成について。令和6年度厚生労働科学研究費（労働安全衛生総合研究事業）「テレワークの常態化による労働者の筋骨格系への影響や生活習慣病との関連性を踏まえた具体的方策に資する研究（研究代表者：甲斐裕子）」分担研究報告書。2025
- (13) 甲斐裕子, 和田 彩, 吉葉かおり, 吉岡菜津美, 村松祐子. テレワークの常態化による労働者の筋骨格系への影響や生活習慣病との関連性を踏まえた具体的方策に資する研究。令和4年度～6年度厚生労働科学研究費（労働安全衛生総合研究事業）「テレワークの常態化による労働者の筋骨格系への影響や生活習慣病との関連性を踏まえた具体的方策に資する研究（研究代表者：甲斐裕子）」総合研究報告書。2025
- (14) 甲斐裕子, 金森 悟, 吉葉かおり, 村松祐子. 職域におけるナッジを活用した身体活動促進ツールの開発と評価：健康無関心層へのアプローチの可能性。令和6年度厚生労働科学研究費（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）「健康無関心層のセグメント化と効果的介入手法の検討：ライフステージに着目して（研究代表者：福田吉治）」分担研究報告書。2025

6 学会発表（招待講演）

- (1) 中村宇一, 甲斐裕子, 横川みどり. 運動・スポーツを通じた働く世代の健康増進の取組。スポーツ庁合同企画シンポジウム。第98回日本産業衛生学会, 宮城。2025年5月
- (2) 川上諒子. 現場で使える筋量の簡易評価法。シンポジウム17「男性の健康革命：メンズヘルスの社会実装で未来を築く」。第25回日本抗加齢医学会総会, 大阪。2025年6月
- (3) 兵頭和樹. 運動強度と脳機能：効果と実践のバランスから考える。シンポジウム「運動強度を考える」。第6回日本体力医学会北九州地方会, Web開催。2025年6月
- (4) 兵頭和樹. 運動が高齢者の実行機能に与える影響：前頭前野の役割。シンポジウム「運動機能と認知機能の関係：fNIRSによるアプローチ」。第64回日本生体医工学会大会, 福井。2025年6月
- (5) 高橋淳太. オンライン運動プログラムでつなぐ通いの場『SOFT』－基礎研究から社会実装研究へ－。日本老年社会科学会第67回大会, 千葉。2025年6月

- (6) 甲斐裕子. 身体活動の普及人材育成プログラムー「相談される身体活動促進専門家」と行政との関わり方を考えるー. 第27回日本運動疫学会学術総会, 大阪. 2025年7月
- (7) 甲斐裕子. エビデンス・プラクティスギャップは埋められるのか?ー実装科学への挑戦. シンポジウム4「データでつなぐスポーツと健康ー科学的根拠に基づく戦略と実装」. 第33回日本運動生理学会大会, 神奈川. 2025年7月
- (8) 川上諒子. 「みる」スポーツの健康効果. スポンサーシップシンポジウム1「運動指導に活かす最新エビデンス」. 第79回日本体力医学会大会, 滋賀. 2025年9月
- (9) 川上諒子. 筋量の簡易評価でサルコペニアを早期に予防する. ランチョンセミナー6「動楽と食楽で健康長寿ーWASEDA'S Health Studyー」. 第79回日本体力医学会大会, 滋賀. 2025年9月
- (10) 甲斐裕子. 横浜市における官民連携による社会的処方への挑戦. シンポジウム37「日本における社会的処方の最前線ー厚労省モデル事業と地域の挑戦」. 第84回日本公衆衛生学会総会, 静岡. 2025年10月
- (11) 甲斐裕子. 地域とのつながりは増やせるのか?ー官民連携で挑むアウトリーチ型の社会的処方ー. 第21回秋田県公衆衛生学会学術大会, 秋田. 2025年11月
- (12) 甲斐裕子. アクティブ・テレワークのすすめーテレワーク時代の健康課題に, 産業保健はどう向き合うかー. 第315回産業保健研究会, 東京. 2026年3月

7 学会発表 (一般発表)

- (1) Baba K, Tabuchi A, Sudo M, Hoshino D, Poole DC, Kano Y. Pharmacological inhibition of ryanodine receptors after eccentric contraction delays the regeneration process in rat skeletal muscle. 2025 American Physiology Summit, Baltimore. 2025 April
- (2) 甲斐裕子, 吉葉かおり, 村松祐子, 金森 悟, 川又華代, 楠本真理, 和田 彩, 藤井悠也, 荒尾 孝. 健康経営政策導入後に企業の運動支援は促進したか?ー10年間の変遷と企業規模格差ー. 第98回日本産業衛生学会, 宮城. 2025年5月
- (3) 吉葉かおり, 甲斐裕子, 和田 彩, 金森 悟, 川又華代, 楠本真理, 村松祐子, 藤井悠也, 荒尾 孝. 全国上場企業におけるテレワーカーに対する身体活動促進の取り組みの実態と課題. 第98回日本産業衛生学会, 宮城. 2025年5月
- (4) Sudo M, Baba K, Kano Y, Ando S. Soleus muscle hypertrophy and neurobehavioral responses to environmental enrichment. 2025 American College of Sports Medicine Annual Meeting, Atlanta. 2025 May
- (5) Kawakami R, Tanisawa K, Nakamura N, Ito T, Usui C, Inoue Y, Chen Y, Watanabe D, Miyachi M, Torii S, Midorikawa T, Ishii K, Suzuki K, Sakamoto S, Higuchi M, Oka K. Estimation of changes in skeletal muscle mass using changes in calf circumference: WASEDA'S Health Study. 2025 American College of Sports Medicine Annual Meeting, Atlanta. 2025 May
- (6) Ando S, Fujimoto T, Hiraoka K, Watanuki S, Takeda K, Sudo M, Ishikawa Y, Funaki Y, Furumoto S, Watabe H, Tashiro M. Acute exercise releases endogenous dopamine in the human hippocampus. 2025 American College of Sports Medicine Annual Meeting, Atlanta. 2025 May
- (7) Xuejin Z, Sawada SS, Dong W, Hirayama R, Kawakami R, Yoshioka N, Lee IM, Sui X, Lee DC, Kai Y, Arao T. Subjective happiness and vitality in relation to experience of supporting the Japanese football league. 2025 American College of Sports Medicine Annual Meeting, Atlanta. 2025 May
- (8) Sudo M, Kano Y, Ando S. Spontaneous locomotive activity induces soleus muscle hypertrophy and reduces anxiety-like behavior in an environmental enrichment. 30th Annual Congress of the European College of Sport Science, Rimini. 2025 July
- (9) 藤井悠也, 北濃成樹, 川上諒子, 和田 彩, 甲斐裕子, 丸尾和司, 荒尾 孝. 筋力トレーニングの実施時間と

- 心血管代謝リスクとの量反応関係～成人 2 万人の健診コホートによる横断的検討～. 第27回日本運動疫学会学術総会, 大阪. 2025年 7 月
- (10) 高橋淳太, 小林吉之. 高齢者の社会参加を可視化する発話量解析システムの精度検証. 日本リハビリテーション医療デジタルトランスフォーメーション学会第 3 回学術集会, 石川. 2025年 7 月
- (11) 角田憲治, 北濃成樹, 甲斐裕子, 神藤隆志, 荒尾 孝. 脂肪肝保有者の糖尿病合併を予防する行動置換モデルの検証ー加速度計評価に基づく24時間組成データ解析ー. 第66回日本人間ドック・予防医療学会学術大会, 京都. 2025年 8 月
- (12) 大西真衣, 野田隆行, 高橋淳太, 川上諒子, 兵頭和樹, 山口大輔, 西田純世, 甲斐裕子, 荒尾 孝. シニア向けオンライン運動教室から発展した新たな地域活動 2 例の報告ーSOFTプロジェクトー. 日本地域看護学会第28回学術集会, 東京. 2025年 9 月
- (13) 須藤みず紀, 根橋 諒, 安藤創一, 狩野 豊, 星野太佑. 豊かな環境様式の違いが海馬のDNAメチル化と認知機能に及ぼす影響. 第79回日本体力医学会大会, 滋賀. 2025年 9 月
- (14) 安藤創一, 藤本敏彦, 平岡宏太良, 四月朔日聖一, 武田和子, メスフィン ベリフ, 須藤みず紀, 船木善仁, 古本祥三, 渡部浩司, 田代 学. 一過性の運動はヒト海馬において内因性ドーパミンを遊離する. 第79回日本体力医学会大会, 滋賀. 2025年 9 月
- (15) 馬場浩平, 田淵絢香, 須藤みず紀, 星野太佑, 狩野 豊. 再生期におけるリアノジン受容体阻害がマクロファージの局在に及ぼす影響. 第79回日本体力医学会大会, 滋賀. 2025年 9 月
- (16) 仲村佳之助, 須藤みず紀, 田淵絢香, 星野太佑, 狩野 豊. 振動刺激が骨格細胞内カルシウムイオン動態に与える影響. 第79回日本体力医学会大会, 滋賀. 2025年 9 月
- (17) 寺田紘基, 二宮 渉, 加納康裕, 今井大輝, 須藤みず紀, 安藤創一. 骨格筋への電気刺激に対する順応時の生理的応答. 第79回日本体力医学会大会, 滋賀. 2025年 9 月
- (18) 福光 樹, 橋本佑斗, 上林紗梨, 須藤みず紀, 小川まどか, 岡本孝信, 安藤創一. 超音波画像法による大腿四頭筋の筋断面積評価の妥当性検証. 第79回日本体力医学会大会, 滋賀. 2025年 9 月
- (19) 石原 暢, 橋本紳之亮, 田中大貴, 石丸幸勢, 兵頭和樹, 松田哲也, 高岸治人. 身体活動が思春期の社会性の発達に与える影響: fNIRSハイパースキャニングを用いた縦断的検討. 第79回日本体力医学会大会, 滋賀. 2025年 9 月
- (20) 金子萌子, 谷澤薫平, 田端宏樹, 中村宣博, 川上諒子, 薄井澄誉子, 伊藤智子, 石井香織, 鈴木克彦, 鳥居 俊, 宮地元彦, 樋口 満, 坂本静男, 岡浩一朗, 前田清司. ACTN3 R577X多型および全身持久力と糖代謝指標との関連: WASEDA'S Health Study. 第79回日本体力医学会大会, 滋賀. 2025年 9 月
- (21) 二宮 渉, 加納 康, 富賀理恵, 須藤みず紀, 古瀬裕次郎, 檜垣靖樹, 田中宏暁, 安藤創一, 畑本陽一. 高齢者における運動機能と大腿筋量の経年変化. 第37回呼吸研究会, 滋賀. 2025年 9 月
- (22) 兵頭和樹. 3 ヶ月間の頻回短時間の低強度運動は高齢者の前頭前野神経効率を高める? 第 7 回スポーツニューロサイエンス研究会, 滋賀. 2025年 9 月
- (23) 甲斐裕子, 藤井悠也, 吉葉かおり, 村松(野口)祐子, 野田隆行, 岩松美樹, 秋田 萌, 矢島陽子, 春日潤子, 荒尾 孝. 第 1 報 官民連携による社会的処方住民の地域参加に及ぼす効果: Y-Linkプロジェクト. 第84回日本公衆衛生学会総会, 静岡. 2025年10月
- (24) 吉葉かおり, 甲斐裕子, 藤井悠也, 村松(野口)祐子, 和田 彩, 矢島陽子, 岩松美樹, 秋田 萌, 春日潤子, 荒尾 孝. 第 2 報 官民連携による社会的処方の質的評価: Y-Linkプロジェクト. 第84回日本公衆衛生学会総会, 静岡. 2025年10月
- (25) 和田 彩, 甲斐裕子, 川上諒子, 藤井悠也, 中村康香, 荒尾 孝. 妊娠中の身体活動量の記述疫学研究ー東北メディカル・メガバンクデータを用いてー. 第84回日本公衆衛生学会総会, 静岡. 2025年10月
- (26) 高橋淳太, 野田隆行, 川上諒子, 山口大輔, 甲斐裕子, 荒尾 孝. オンラインを活用した通いの場『SOFT』の社会実装研究: 実社会への適応と効果検証. 第84回日本公衆衛生学会総会, 静岡. 2025年10月
- (27) 野田隆行, 高橋淳太, 川上諒子, 山口大輔, 甲斐裕子, 荒尾 孝. オンラインを活用した新たな通いの場『SOFT』の紹介: SOFTプロジェクト. 第84回日本公衆衛生学会総会, 静岡. 2025年10月

-
- (28) 中村陸人, 江崎一希, 須藤みず紀, 岡本孝信, 安藤創一. 骨格筋への電気刺激トレーニングによる代謝変化. 第38回日本トレーニング科学学会大会, 東京. 2025年11月
 - (29) 福光 樹, 赤木亮太, 橋本佑斗, 上林紗梨, 須藤みず紀, 岡本孝信, 安藤創一. 筋肥大を意図したトレーニングによる大腿四頭筋横断面積の変化: 超音波法による検証. 第38回日本トレーニング科学学会大会, 東京. 2025年11月
 - (30) 大西真衣. オンラインで繋ぐ通いの場Slow Online FiTness: SOFTの運営実態の報告. 第14回日本公衆衛生看護学会学術集会, 石川. 2025年12月
 - (31) Hyodo K, Dobashi S, Takahashi S, Yamaguchi T, Tachibana Y, Matsui T. Probabilistic registration-based evaluation of fNIRS probe placement targeting the ventromedial prefrontal cortex. ARIHHP Human High Performance Forum 2026, Ibaraki. 2026 February
 - (32) 須藤みず紀. 2016年度以降の運動と脳と筋の研究. 第3回JPSC研究会, 茨城. 2026年3月

8 その他の業績(研究費の取得)

- (1) 須藤みず紀. 脳機能の向上に資するヒラメ筋を起点とするボトムアップ型制御機構の解明(科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(B)). 令和8~11年度
- (2) 甲斐裕子. 高年齢労働者の運動による身体機能の維持向上策の実効確保のための調査研究(厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)). 令和8~11年度

Appendix II

健康啓発活動業績一覧

1 講演および講義

- (1) 運動習慣化のコツーやる気に頼らず生涯健康にー。運動に関する基調講話。税務大学校東京研修所。2025年4月（対象：税務大学校研修生）
- (2) 行動科学理論を活かした健康支援。第1回健康づくり推進スタッフ養成研修。中央労働災害防止協会。2025年6月（対象：保健師，看護師，管理栄養士）
- (3) 転ばぬ先の健康経営ー科学が解き明かす「体力」の戦略的価値。健康経営実践勉強会「健康経営における「運動」の必要性①」～働く人の“体力”に着目した，行動災害予防の新戦略～。健康経営会議実行委員会。2025年7月（対象：企業担当者）
- (4) 運動指導における社会的つながりの重要性。令和7年度健康運動指導士更新必修講座。公益財団法人健康・体力づくり事業財団。2025年7月（対象：健康運動指導士）
- (5) 痛みとの上手なつきあい方。八王子けんこう体操・らくらく体操 特別ミニ講座。南大沢保健福祉センター。2025年9月（対象：一般住民）
- (6) 甲斐裕子。なぜ運動は健康経営に役立つのか？健康経営実践勉強会「健康経営における「運動」の必要性②」～働く人の運動習慣の形成に向けた新たな取り組み～。健康経営会議実行委員会。2025年10月（対象：企業担当者）
- (7) 『運動さえしていれば大丈夫！』これって本当？～高齢期における多様な生活活動の重要性～。令和7年度宮崎県市町村健康づくり推進員等研修会。宮崎県。2025年10月（対象：健康づくり推進員等）
- (8) フレイル予防と社会参加。横浜市緑区フレイル予防講演会。横浜市緑区。2025年10月（対象：一般住民）
- (9) 運動指導における社会的つながりの重要性。令和7年度健康運動指導士更新必修講座。公益財団法人健康・体力づくり事業財団。2025年10月（対象：健康運動指導士）
- (10) 行動科学理論を活かした健康支援。第2回健康づくり推進スタッフ養成研修。中央労働災害防止協会。2025年10月（対象：保健師，看護師，管理栄養士）
- (11) 座りすぎの健康影響とオフィスでの対策ー運動を活用し誰もが健康に働き続けられる職場へー。第7回健康長寿日本ー長崎県民会議総会。健康長寿日本ー長崎県民会議。2025年11月（対象：健康長寿日本ー長崎県民会議構成団体等）
- (12) 座りすぎを減らして健康づくり。シニアクラブセミナー。調布市シニアクラブ連合会。2025年12月（対象：一般住民）
- (13) 働く世代における運動習慣化のコツ“職場でちょこっと”から始めよう！健やか山梨21推進大会。山梨県。2026年1月（対象：一般住民）
- (14) 運動で認知症予防。屋久島町一湊区サロン。2026年2月（対象：一般住民）
- (15) 行動科学理論を活かした健康支援。第3回健康づくり推進スタッフ養成研修。中央労働災害防止協会。2026年2月（対象：保健師，看護師，管理栄養士）

2 メディア掲載

- (1) 日本エアロビック連盟「スマイル」：高齢者向けオンライン健康づくりシステムの研究開発に関する内容。2025年4月
- (2) 読売新聞：日本国内における身体活動の実態調査に関する研究成果。2025年4月
- (3) livedoor，@niftyニュースほか：プレスリリース「職場の座りすぎ対策に“1日数回，計10分のアクティブブレイク”ー国内初！1年間の実証研究に基づく研究成果ー」に関する内容。2025年5月
- (4) 北日本新聞webunプラス：スポーツ観戦の健康影響に関する研究成果。2025年5月
- (5) タウンニュース：高齢者を対象としたオンライン・コミュニティによる健康づくり方法の開発に関する内容。

2025年5月

- (6) MSN, Forbes Japanほか：プレスリリース「ふくらはぎが細くなったら筋量減少のサインー世界初！ふくらはぎ周囲長の変化と筋量の変化の関係性を縦断的に検討ー」に関する内容. 2025年6月
- (7) 日本エアロビック連盟「スマイル」：高齢者向けオンライン健康づくりシステムの研究開発に関する内容. 2025年7月
- (8) DIAMOND online, @DIMEほか：下腿周の変化と四肢筋量の変化の関連性についての研究成果. 2025年7月
- (9) スポーツ栄養Web：下腿周の変化と四肢筋量の変化の関連性についての研究成果. 2025年7月
- (10) livedoor, MSNほか：プレスリリース「『企業担当者のための健康に配慮したテレワーク実践ガイド』刊行！ー厚生労働科学研究班が作成，無料公開スタートー」に関する内容. 2025年8月
- (11) Infoseek News, livedoorほか：プレスリリース「毎朝20分のオンライン軽体操で，高齢者の歩行能力が7歳若返り！ーキツイ運動ではなく，低強度のスローエアロビックでも歩行速度が改善することを証明ー」に関する内容. 2025年11月
- (12) Yahoo!ニュース, MSNほか：プレスリリース「成人の中高強度身体活動時間は1日56.8分 家事や立ち仕事などの低強度身体活動時間は男性4.9時間/日，女性6.3時間/日 計測機器を用いた国内初の全国調査の報告書を発刊」に関する内容. 2025年12月
- (13) MSN, livedoorほか：プレスリリース「高頻度のテレワークが体力低下につながる可能性！ー厚生労働科学研究班が研究成果を発表ー」に関する内容. 2025年12月
- (14) SODANE：スポーツ観戦の健康影響に関する研究成果. 2025年12月
- (15) 日本エアロビック連盟「スマイル」：高齢者向けオンライン健康づくりシステムに関する研究成果. 2026年1月
- (16) マイナビニュース, NewsPicksほか：プレスリリース「高齢者の健康づくりとコミュニティ形成に関する共同研究協定を締結」に関する内容. 2026年1月
- (17) 毎日放送「サタプラ」：日本国内における身体活動の実態調査に関する研究成果. 2026年1月
- (18) 京都新聞：健康で安全なテレワークの社会への普及を目指した研究に関する内容. 2026年2月
- (19) 神奈川新聞：第41回若手研究者のための健康科学研究助成に関する内容. 2026年2月
- (20) びわ湖放送「滋賀経済NOW」：健康で安全なテレワークの社会への普及を目指した研究に関する内容. 2026年3月
- (21) 日本経済新聞(電子版)：健康で安全なテレワークの社会への普及を目指した研究に関する内容. 2026年3月
- (22) 保険毎日新聞：第41回若手研究者のための健康科学研究助成に関する内容. 2026年3月
- (23) Yahoo!ニュース, MSNほか：プレスリリース「私たちはどのくらい動いているのか？厚労省が推奨する身体活動量の達成率は46.6% (速報値)『活動量計による身体活動・スポーツの実態把握調査2025』」に関する内容. 2026年3月